



あそぶ！まなぶ！つくる！

北谷津わんぱくの森

～自由な体験を通じて子どもと大人が“とも育ち”する場～

わんぱくの森の会・千葉市



～ 目次構成 ～

1. 北谷津の森の取組み	(1) 北谷津の森における取組み ……1
2. わんぱくの森とは	(1) わんぱくの森とは ……2
3. わんぱくの森の活動	(1) わんぱくの森の活動場所 ……3 (2) わんぱくの森のある1日 ……4 (3) さらなる活動のイメージ ……7
4. わんぱくの森の運営	(1) 活動の考え方 ……8 (2) 運営を支える人たち ……9 (3) 活動を進める体制 ……10
5. わんぱくの森の今後	(1) わんぱくの森の活動の展開について …11

1. 北谷津の森の取組み

(1) 北谷津の森における取組み

環境学習拠点「北谷津の森」として、地域のさらなる活性化を目指します！

「北谷津の森」の場所

千葉市のほぼ真ん中です。



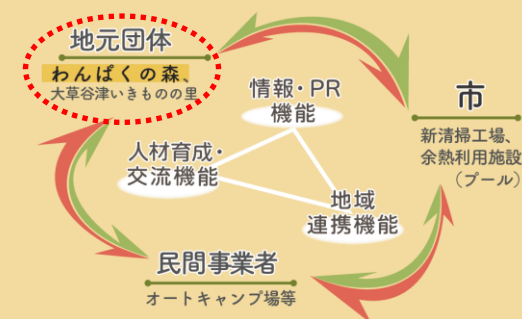
「北谷津の森」活性化のテーマ

～自然体験と環境学習の融合～

「豊かな自然環境」の中で
展開される「遊び」「学び」「育み」
を通じたリトリート空間※

※リトリート：普段いる場所や人混みから
離れ、心身をリフレッシュする

「北谷津の森」拠点整備の概要



※各施設は令和12年度オープン予定

(参考)北谷津の森・新清掃工場周辺整備基本計画(令和5年12月策定)

大切に残されている北谷津の豊かな自然等の地域資源を活かし、持続可能な社会の担い手となる子どもたちが、遊びながら環境学習を体感できる拠点として整備を進めるとともに、環境の重要性を発信する拠点として、「自然体験と環境学習の融合」を念頭に、地域のさらなる活性化を図ることを目指しています。

2. わんぱくの森とは

(1) わんぱくの森とは

あそぶ！まなぶ！つくる！わんぱくの森

このキャッチフレーズは
ワークショップに参加した
みんなで考えました。

北谷津の豊かな自然環境の中で、子どもたちの健全な心身を育むため、「わんぱくの森」に関わる人や遊びに来る人のみんなで、プレーパーク共通のテーマ「自分の責任で自由に遊ぶ」のもと、「すべての子どもたちにとって心地よく、わくわくする居場所」をつくります。

あそぶ＝“からだ”の発達

- ・手足をつかって目一杯あそべる
- ・子どものパワーを引き出す
- ・色んな道具や作業を体験する
- ・豊かな自然で五感を活性化させる

まなぶ＝“こころ”が育つ

- ・わくわくする好奇心を育む
- ・自ら考えて想像する心を育む
- ・失敗をおそれずにチャレンジする
「わんぱく」な心を育む

つくる＝“つながり”をつくる

- ・子どもだけでなく、地域の大人も含めた「つながり」をつくる
- ・わんぱくの森を中心に、地域に広がる「にぎわい」をつくる

(参考) プレーパーク＝ 自分の責任で自由に遊ぶ「冒険遊び場」(1943年デンマーク生)

プレーパークとは、大人が用意した遊びのプログラムや既成の遊具ではなく、子どもの「やってみよう！」気持ち大切に、子どもの手で作りかえることができる遊び場のことです。

特徴① だれでも遊べる野外の遊び場で、子どもが遊びをつくる場

特徴② 子どものやってみようを大切に、失敗体験等を通じた成長を育む場

特徴③ 遊び場全体を見守り、一緒に活動するプレーリーダーがおり、子どもが安心して自由に遊べる場

3. わんぱくの森の活動

(1) わんぱくの森の活動場所

「わんぱくの森」には、まちの中の公園にあるようなブランコや滑り台などの遊具はありません。

昔からこの地域に生えているイヌシデやシラカシなどが残された雑木林を活動場所として、みんなの「やってみたい」ことを、手づくりで「かたち」にします。



*わんぱくの森の概要
 広さ：約3,000㎡
 設備：リーダーハウス、倉庫、
 トイレ（広場兼用）
 ※R12のオープンに向けて今後整備予定

3. わんぱくの森の活動

(2) わんぱくの森のある1日

子どもたちが来る前(朝)に地域の人々で集まって準備



ブランコを高い木にかけて準備!



早く来た子どもたちも加わってみんなで協力します!

地域の大人たちが集まり、プレーリーダー(※)を中心に、高い木にロープをかけたり、火をおこし、サツマイモを焼きはじめます。

※プレーリーダーとは、子どもたちがいきいきと遊ぶことのできる環境を作る人で、安全を見守りながら、子どもたちの目線で一緒に活動し、興味や関心を引き出します。



みんなで食べるサツマイモはもちろん地元産です!

3. わんぱくの森の活動

(2) わんぱくの森のある1日

ロープでつくった、ブランコやモンキーブリッジなどで自由に遊ぶ



自然を感じるブランコ

追加ブランコづくりは大人も夢中



はらはら渡るモンキーブリッジ！



気づくとすごい長さに！

できたあがったブランコや、モンキーブリッジで子どもたちが目一杯遊んでいます。
まだロープが余っていたので、もうひとつブランコを作ったり、モンキーブリッジもどんどん広がっていきます。
枝や落ち葉を集めて、秘密基地を作る子どももいます。



落ち葉や枝でつくる秘密基地

3. わんぱくの森の活動

(2) わんぱくの森のある1日

たき火で焼いたサツマイモやマシュマロをみんなで食べて大満足



たき火を囲う



マシュマロ焼き



はじめての木工体験

夢中で遊んでいると、焼き芋ができあがり、
みんなでたき火を囲んで交流しながらいただきます！
さらに、食べた後には木工体験をしたり、
一日たくさんの体験ができて、子どもも大人も大満足！

3. わんぱくの森の活動

(3)さらなる活動のイメージ

01. 木々とのふれあい

・豊富な木々・自然を活用したあそび



02. 火を通じた人とのつながり

・たき火を通じて人とつながる



03. どんぐりあそび

・地形や自然を活かした豊富な遊び



あわせて、環境学習拠点としての
取組みも検討を進めます！

04. わざをまなぶ木工体験

・のこぎりやなた等の道具の使い方を学ぶ



05. 資源をつかったあそび

・竹や井戸を活用した魅力的なあそび



06. 自然体験・環境学習

・目一杯の自然を学ぶ・体験する



4. わんぱくの森の運営

(1) 活動の考え方

「自分の責任で自由に遊ぶ」というプレーパーク共通テーマのもと、北谷津の豊かな自然環境の中で子どもたちの身体と心を育む「わんぱくの森」の運営の考え方は次のとおりです。

子どもの自主性・自己責任

都市公園などでの禁止事項をなくし、自分の責任で遊ぶ環境を提供することで、子どもの自主性を養います

【参考：千葉市子どもたちの森公園】

子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに、自分のしたいことを実現できる遊び場（プレーパーク）

原則手づくり

～小さくはじめ徐々に充実～

遊具や道具などの“遊びのたね”は原則手作りとし、プレーパークに関わる人たちと、徐々に活動を広げていきます



大人もまなび“とも育ち”

豊かな森の自然の中で、「遊び・学ぶ」経験を、子どもとともに大人も体験することで、子どもと大人が一緒に“とも育ち”します

“とも育ち”は、プレイベント開催（R6.11月）を通して、見えてきた「わんぱくの森」の運営の考え方です。

4. わんぱくの森の運営

(2) 運営を支える人たち

わんぱくの森を支える人たちの“こえ”



北谷津自治会員

準備や安全管理等も色々とやることはあるけど、充実してます!!



北谷津自治会員

環境学習は子どもだけでなく、大人も一緒に楽しめる場所を目指したい!



イベント参加者

子どもにとって初めての体験で、森の中の自由な空間を楽しんでいた。次の機会も、ぜひ参加したい!

社会福祉協議会員

子どもだけでなく大人も楽しめる場所なので、自分が子育てをしている時に近くにあれば参加したかった



千葉市地域団体

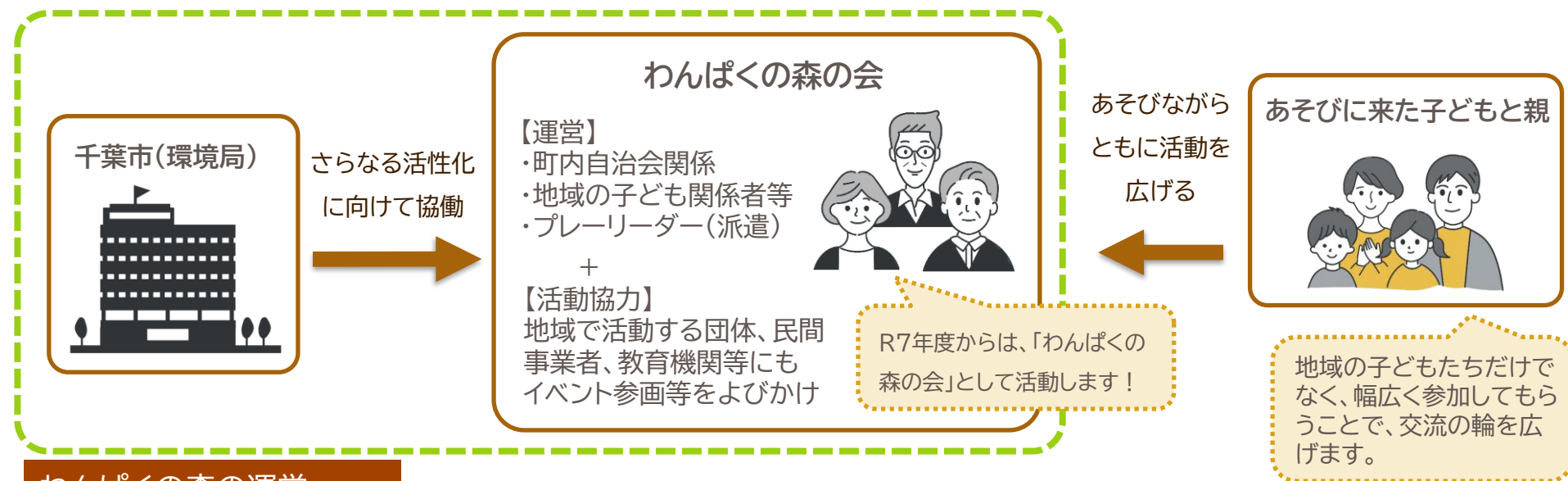
近隣にしっかり情報発信をして、子どもたちに非日常的な体験をさせたい!!



4. わんぱくの森の運営

(3) 活動を進める体制

わんぱくの森は、体験を通じて子どもたちを健やかに育みたいという地域が中心となって、千葉市とも協働しながら活動を進める中で、地域で活動される団体や個人と連携し、仲間の輪を広げています。



わんぱくの森の運営

○子どもとの関わり

- ・子どもの自主性を尊重し、発想力を伸ばす
- ・遊びの見守り・子どもと一緒に考える
- ・道具の使い方など基礎的なことを教える

○維持管理・運営

- ・下草・倒木の管理
- ・遊び場・工作物の整備
- ・たき火などをする際の利用申請 など

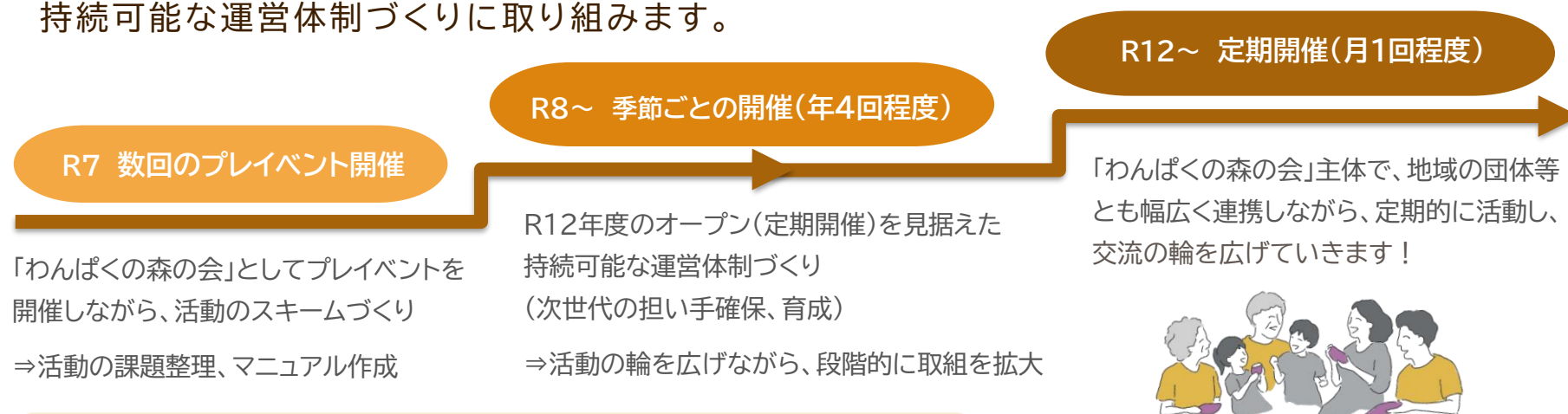
○情報発信

- ・SNSやチラシを通じた声掛け
- ・子ども関連機関への告知
- ・子ども同士の誘い合い

5. わんぱくの森の今後

(1) わんぱくの森の活動の展開について

まずは令和8年度に「小さくはじめる」(プレオープン)することで12年度のオープンに向けて持続可能な運営体制づくりに取り組みます。



※開催日は主に週末を想定しています(参考 R6プレイベントアンケート)



北谷津わんぱくの森 案内図

北谷津わんぱくの森所在地：千葉市若葉区北谷津町
(新清掃工場裏側の森)





わんぱくの森の会



発行日／令和8年4月【第1版】
編集・発行／千葉市環境局資源循環部廃棄物施設整備課
（業務受託者：株式会社オリエンタルコンサルタンツ）
千葉市中央区千葉港1番1号
☎ 043-245-5399
FAX 043-245-5477
E-Mail shisetsuseibi.enr@city.chiba.lg.jp

